

# 土塊を減らし種いもの使用量を減量する バレイショ防除畦の改良

農研機構・北海道農業研究センター

バレイショの防除畦を改良することで、生育期間中に防除畦で発生する土塊が減り、収穫畦数も減るため、**収穫に要する作業時間が約10%減ります**。防除畦の改良により、収量を維持しつつ種いもの使用量を減らせます。

## 技術の特徴

防除畦の2本にバレイショを植えずに、防除機やトラクタのタイヤが従来畦の頂部にあたるラインを走るように防除畦を改良します。

## 技術のメリット

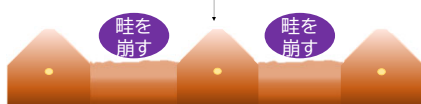
- ・土塊の多発地点が減少します。
- ・種いもの使用量や収穫労働時間を減らせます。
- ・収量は慣行の栽培と変わりません。

### 改良防除畦の作成

植え付け・培土



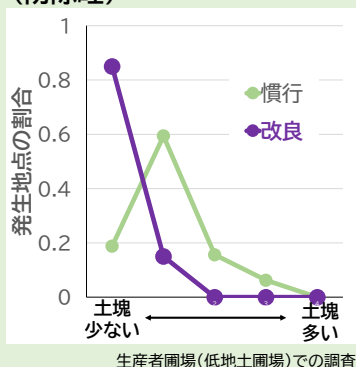
防除通路作成



防除



### 収穫機上の土塊発生量の割合 (防除畦)



### 収穫労働時間の比較

処理	収穫時投下労働時間 (h/10a)
慣行	7.26
改良	6.53
慣行比	<b>90%</b>

18m間隔 5名作業時の試算

## 技術の注意点

- ・土塊の減量は礫が少ない圃場で効果的です。
- ・防除通路は畦間カルチ等の除草機を活用して行うことができます。
- ・防除通路の雑草はグルホシネート液剤等で防除可能です。
- ・プランタのクラッチ操作で種いもの供給を、シャッター目盛りで施肥量を停止(調整)できます。

防除通路作成に使われたアタッチメント



生産者圃場で作成された防除通路



プランタのクラッチおよびシャッター目盛り

